

令和5年度実施 指定管理者モニタリングシート

施設の概要			
施設の名称	愛荘町立ハーティーセンター秦荘	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	一般社団法人 愛荘町文化協会	選定方法	公募
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (4年度目)	点検月	令和5年5月
施設設置目的	町民の文化の向上と芸術の振興を図るため		
施設規模	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 地上4階(平成6年建設)、延床面積5523.03㎡ 大・中ホール、サークル室(6室)、大広間、調理実習室など		
業務概要	文化芸術活動の振興を図るための各種業務および情報提供と展示 ホールおよび付属施設の提供 ハーティーセンターの目的を達成するため、その他町教委が必要と認める業務		

収支状況および利用状況						
	①	②	③	対前年度増減		過去平均
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	①・②	②・③	
収入(千円)	34,835	42,891	43,588	8,056	697	40,438
指定管理料	30,115	30,019	30,019	▲96	0	30,051
利用料	1,787	2,920	4,464	1,133	1,544	3,057
その他	276	3,952	4,011	3,676	59	2,746
補助金等	2,657	6,000	5,094	3,343	▲906	4,584
支出(千円)	33,660	42,889	43,563	9,229	674	40,037
利用人数	16,852	17,801	30,263	949	12,462	21,639

自己評価および施設所管課評価		
指定管理者	自己評価	自主事業数は以前の回数に戻り、利用人数については増加している。研修等での複数回利用が増えていることも増加に影響している。5グループの文化協会登録があった。次年度からの登録グループもあり、今後の継続的な活動を期待したい。施設は日常清掃をシルバー人材センターへ委託し、利用者にも退出時の清掃・点検を依頼し、常に美化と現状維持に心がけている。
	今後の目標	引き続き貸館やサークル活動についてサポートをし、施設管理や公演事業についても実施をしていく。幅広い年齢客層の文化意識の向上と芸術振興の拠点施設となるよう、役職員ともに更に尽力していく。
施設所管課	所管評価	平時の維持管理を適切に行っており、新型コロナウイルス感染症の流行が沈静化し始めたことを受けて自主事業の回数もコロナ禍前の水準に戻している。また利用者数が回復傾向にある中で、協賛企業への働きかけ等によりさらなる収益の増加に努め、令和4年度はその成果が出ている。Wi-Fi環境を整備したものの状況について、特にフリーWi-Fiを活用できそうなコワーキングスペース事業については軌道に乗っているとは言い難く、指定管理者側もまだ改善の余地があるとの見解を示しており、コロナ禍後においても、普段事業に使用しないスペースの有効活用として当該事業が広く浸透するよう工夫を求めるところである。
	指導事項等	指導事項はない。

総合評価 (指定管理者選定審査委員会)	
C (良好)	<p>自主事業がコロナ禍以前の水準まで戻り利用者数が回復傾向にあるが、空きスペースの有効活用については工夫の余地がある。活発に施設を利用いただけるよう取組を実施し、町民の文化意識の向上や芸術振興によりいっそう寄与されることを期待する。</p> <p>なお、収支決算書の支出の部について、「中退共負担金、法人税他、負担金補助および交付金」と指定管理事業との関連性について確認が必要である。このような課題を明確にするには、支出項目は、「指定管理事業に係る金額」と「自主事業に係る金額」の区分表記を徹底するよう、管理事業者への指導が必要である。</p>